

日本語ローカルテキストの語種調べ

— 『おいでませ山口1～5』の場合—

林 伸一・吹屋葉子

1. はじめに— 『おいでませ山口』シリーズの歴史

吹屋ら (2012) は、ローカルテキスト『おいでませ山口』シリーズの開発・制作の歴史、特色としてマインド・マッピング、地域情報、文字表記について、次のように述べている。

「山口の実情に合った地域密着型日本語教材を」と制作を開始したローカルテキストは、1994年に入門用テキスト『山口で学ぶ日本語』としてその第一歩を踏み出した。これは1996年に『おいでませ山口』と改名され、同年続編『続おいでませ山口』も発行された。1999年の第3分冊発行に合わせて、それぞれを『おいでませ山口1・2・3』とし、本格的にシリーズ化された。その後、2003年に『おいでませ山口4』、さらに2011年に『おいでませ山口5』も発行され、初版発行から18年を経て、『おいでませ山口1～5』と全5分冊で現在に至っている。

『おいでませ山口』シリーズは、入門から初中級レベルの基本的な学習項目を機能面主体に配列しつつ、地域情報・生活情報も意識的に組み込み、多角的な日本語支援リソースとなることを目指している。また、地域の日本語教室では、学習者のレディネス (readiness)、ニーズ (needs)、学習形態が多岐にわたるため、汎用性・柔軟性のある教材となるように、練習問題などを工夫している。

カリキュラムを組むに当たっては、生活者としての外国人への日本語支援であることを念頭に置き、概念・機能シラバスを中心に、場面シラバスの要素も含む構成にしている。

2. マインド・マッピング (mind mapping)

『おいでませ山口』シリーズのもっとも大きな特色の一つにマインド・マッピングがあげられる。林 (2009) はマインド・マッピングに関して、「語彙の整理と拡大、品詞の整理と文型練習のためなど活用できる範囲が広いが、特に概念 (notion) の整理に役立つ」としている。『おいでませ山口』シリーズのマインド・マッピングは、「果物マップ」「スポーツマップ」(『おいでませ山口1』) のような上位語・下位語の整理をするものに始まり、「ゴミマップ」(『おいでませ山口2』)、「私の休日」(『おいでませ山口3』)、「お金がたくさんあったら」(『おいでませ山口4』) 等、クラス活動にお

けるインタラクションや作文の素材にもなるテーマを取り上げ、学習者が自由に書き込める形で示し、情報の同時処理に効果を發揮している。

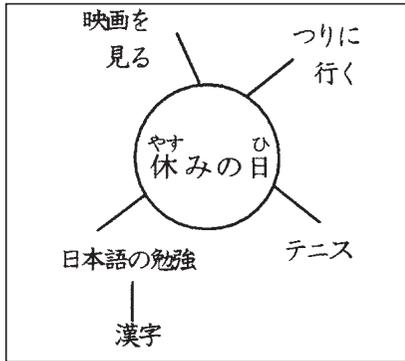


図1 「私の休日」

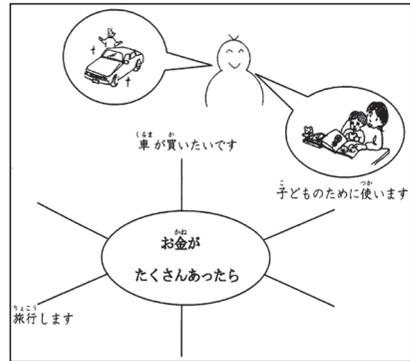


図2 「お金がたくさんあったら」

3. 地域情報

日本語教育学会（2008）は、教科書の内容について、「地域性を反映したものとしては、日常生活になじむ知識（ゴミの出し方など）、就労者に馴染む知識、公共機関・交通機関・施設利用、自然環境、地元名産、地名・観光地紹介、生活場面、店名、地図、慣習、方言、社会参加などがある」とした上で、『おいでませ山口』を「地域密着型」のテキストとして紹介している。『おいでませ山口』シリーズは、学んだことがそのまま実生活の中で使えるという「生活情報誌」的テキストになるように、現実の内容を重視した構成となっている。



図3 「ゴミマップ (一部)」
（『おいでませ山口2』）

だいなな せつしゅう にわ
第7課 雪舟がつくった庭です

(雪舟庭で)

バク：きれいな庭ですね。
とも子：ええ、そうですね。
ここは、雪舟がつくった庭なので、雪舟庭というんですよ。
バク：そうなんですか、セッションってだけですか。
とも子：雪舟は、日本の有名な画家で、水無瀬という絵を完成した人なんです。
バク：へえー。
とも子さんは、雪舟の絵を見たことがありますか。
とも子：ええ、前に展覧会で見ました。額だけだった絵なんですよ。
わたしは、とても好きです。
バク：ふうん。ぼくも見たいいなあ。

図4 「第7課 ダイアログ」
（『おいでませ山口4』）

4. 文字（識字）について

「読む」「書く」といった識字力は、生活の質に大きく関わるものであるにもかかわらず、ボランティア日本語教室ではより日常生活に密着する「話す」「聞く」技能の習得に重きが置かれ、後手に回りがちである。また、特に「文字を書く」ことは、個々人の意識のほかに、出身地や日本での生活様式等学習者の背景も絡み、個人差が出やすい領域である。

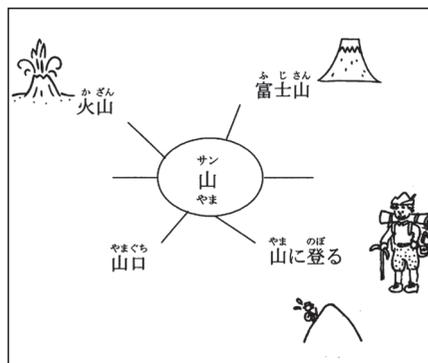


図5 「漢字マップ」

『おいでませ山口』シリーズでは、漢字にルビを付け、テキストの中に段階的に文字学習のページを組み込み、『おいでませ山口2』の「漢字マップ」等を用いながら、文字に対する興味関心を深められるように工夫している。

以上の項目にさらに詳細な内容を加えた形で、吹屋葉子・山見智子・林伸一・小原寿美が共同して、「ローカルテキスト『おいでませ山口1～5』の可能性」と題して2012年度日本語教育学会中国地区研究集会において、ポスター発表を行なった。

5. 語種の区分について

語種とは、和語、漢語、外来語、混種語という語の種類を言う。

和語とは、漢語およびその他の外来語に対して日本固有の語を指し「やまとことば」とも言う。現代では語彙の構成上の割合では、漢語に第1位を譲ったが、使用量からみれば、50%以上で首位を占める。日常よく用いられる語は、和語が多く、基本語は和語であると言われる。(電子辞書版百科事典『マイペディア』参照)

漢語とは、日本語の中で、訓読みではなく、音読みで読まれる語を指し、音読みで読まれる漢字からなる熟語を含む。昔、中国から伝わり、日本語として定着したものほかに、日本で作られた和製漢語（先週、今週、来週など）もある。字音語とも言う。(小学館『デジタル大辞泉』参照)

外来語とは、他の言語から借用し、自国語と同様に使用するようになった語を指し、借用語とも言う。日本語では、広義には中国伝来の漢語も含まれるが、狭義には、主として欧米諸国から入ってきた語を言う。一般にカタカナで表記される語が多いが、TEL、FAX などアルファベット表記されるものも出現してきている。

外来語のほとんどが名詞として、ときに「ハンサムな」「スマートな」などナ形容詞として、「コピーする」「クリックする」など動詞として用いられる。外来語という

言い方は、内（ウチ）と外（ソト）を区別する日本的な発想に基づく言い方で、英語では borrowed word または loanword（ローンワード：借用語）と言う。

混種語とは、異なる複数の語種からなる語である。例えば、和語プラス漢語の結合である「船便」（湯桶読み）、漢語プラス和語の結合である「両替」（重箱読み）、和語と外来語の結合である「長ズボン」、漢語と外来語の結合である「高速バス」などである。語中に、和語、漢語、外来語の要素が複数含まれている語を混種語とする。

5-1. 『おいでませ山口』と語種について

『おいでませ山口』は、もともと概念・機能シラバス（notional functional syllabus）で作成しようとした山口県のローカルテキストであるが、シリーズが1～5と進むにしたがって、場面・機能シラバスが優先されるようになってきた感がある。もう一度、原点の概念・機能シラバスに立ち返って考えてみるならば、概念（notion）に光を当てて再検討してみる必要がある。

英語起源のキャップ（cap）もハット（hat）もフランス語のベレー（berét）も日本語では「帽子」という概念で束ねることができる。英語起源のチェア（chair）、ソファ（sofa）、スツール（stool）、ベンチ（bench）などはいずれも、日本語では「腰掛け」（和語）または「椅子」（漢語）で一括できる。これらは概念として下位語と上位語の関係にあるだけでなく、外来語、和語、漢語の語種の問題ともなる。

分かりやすい例で言うとホテル（外来語）、旅館（漢語）、宿（和語）の区別は、イメージ、形態、定義などいろいろと考えられるが、語種によるイメージの差異が大きいように思われる。また、「ホテル」は、ほぼ世界的に用いられ、「旅館」は中国、韓国など漢字圏では通じるが、「宿（やど）」は和語で使用範囲は狭くなる。ただし、日本語の文脈では、「宿」が上位語となり、「ホテル」「旅館」「民宿」などが下位語となる。

『おいでませ山口』は、各巻の在庫部数に合わせて、改訂を続けてきた。それは、扱う場面や情報の変化に迫られて改訂を余儀なくされている面もあるが、内容に伴う語彙の変化も関係している。

磯部（2006）は「日本語に限らず、言語というものは、その歴史の中で、絶えず変化を続けているものであるが、分野によってそのスピードは一樣ではない。もっとも変化が激しいのは、語彙の分野である」としている。

外国人に日本語を教える際にも語種の違いと語彙の範囲を認識しておく必要があると考え、以下のような語種調べをした。

5-2. 『おいでませ山口1~5』の新出名詞の語種調べ

各表の①②③…の記号は、該当の課の番号を示す。(①は第1課の意味) 地名・人名などの固有名詞は表の下に示す。各表の右上に()で固有名詞を含む新出語の総数を示す。それぞれの百分率は、固有名詞を含む新出語の総数に対するものである。

表1. 『おいでませ山口1』における新出名詞 (379語)

<p>和語 102 (26.9%)</p>	<p>①おくさん、わたし、つま、どこ、かばん、かさ、(お)名前、夫、(お)すまい ②ねこ、いぬ、たまご、朝、昼、夜 ③塩、すし、めがね、はさみ、くすり、ことば、くだもの、 ④はがき、小包、切手、お金、くつ、おつり、 ⑤だれ、とり、さかな、花、おにぎり、ごみ箱、赤ちゃん、車、男の人、女の人、まな板、なべ、上、中、下、前、後ろ、左、右、となり、横 ⑥皿、箱、橋、川、町、人、焼き物、へや、国、食べ物、 ⑦友だち、今、てがみ、乗り物、きょう、あした、あさって、きのう、おととい、今朝、ゆうべ、今年、おとし、 ⑧(お)酒、米、家、さしみ、買い物、 ⑨雨、木、夕方、のど、水、あたま、1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、20日、 ⑩(お)みやげ、あまいもの、いなか、飲み物、風邪、雪、しばふ、ごみ</p>
<p>漢語 130 (34.3%)</p>	<p>①学生、大学、留学生、教師、無職、看護師、医師、医者、(ご)主人、主婦、家内、英語、数学、先生、研修生、氏名、職業 ②電話番号、郵便番号、晩、電話、代表、警察、救急車、火事、本 ③しょうゆ、ほうし、新聞、りんご、教室、いす、みかん、病院 ④郵便局、局員、航空便、電子辞書、客、せっけん、郵便、速達、封書、封筒、便箋、航空書簡 ⑤銀行、包丁、自転車、牛乳、学校、公園 ⑥店員、料理、物価、音楽、茶わん、道具、絵 ⑦駅、電車、時間、午前、午後、日本語、図書館、ごはん、会社、自動車、飛行機、食卓、今晚、今週、来週、先週、今月、来月、先月、来年、さ来週、さ来月、さ来年、去年、毎日、毎週、毎晩 ⑧映画、漢字、料金、空港、地図、晩ごはん ⑨天気、さんぽ、せんたく、こんど、勉強、映画館、弁当、県庁、電気、そうじ、1月、2月、3月、4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日 ⑩乾燥剤、紅茶、とかい、にく、ぎゅうにく、ういろう、せんべい、まんじゅう</p>

外来語 43 (11.3%)	①パーティー、エンジニア ②ボールペン、シャープペンシル、ボール、ノート、ベルト、TEL、FAX ③ソース、キャッシュカード、ネクタイ、テレビ ④EMS、フリーマーケット ⑤スーパー、アパート、バナナ、CD、ケーキ、トイレ、ポスト、テーブル、コンビニ ⑥ナイフ、スカート ⑦コーヒー、ラジオ、スポーツ、バス ⑧タクシー、ビデオ、テニス ⑨レストラン、コート（テニスコート）、プール、ステーキ、シャワー、デパート ⑩ジュース、チョコレート、バレーボール、たばこ
混種語 20 (5.3%)	①（お）仕事 ②とけい ④船便、国際郵便はがき、往復はがき、現金書留、国際エクスプレスメール（EMS）、エコノミー航空便、SAL便 ⑤バス停 ⑦本屋、毎朝、毎年、毎月 ⑧昼ごはん、100円ショップ、高速バス ⑩ぶたにく、とりにく、おかし

固有名詞（84）[22.2%]

人名：山本、林、木下、田中、山田、まり、とも子、キョク、ワン、リー、キム、バク（12）

地名：平川、山口、下関、岩国、萩、宇部、広島、福岡、東京、天神、周南、防府、常盤公園、山陽小野田（14）

国（地域）名：中国、韓国、台湾、日本、モンゴル、フィリピン、インドネシア、ベトナム、タイ、マレーシア、シンガポール、インド、ネパール、スリランカ、バングラデシュ、パキスタン、サウジアラビア、カナダ、アメリカ、メキシコ、ペルー、ブラジル、アルゼンチン、オーストラリア、ニュージーランド、イギリス、フランス、スイス、イタリア、ドイツ、スペイン、ブルガリア、ハンガリー、ロシア、イラン、トルコ、エジプト、ガーナ、ザンビア、タンザニア、ケニア、エチオピア、スーダン（43）

施設名（店名）：山口駅、博多駅、瑠璃光寺、錦帯橋、カトウ薬局、アルク、山口大学、山口県国際交流協会、山口県国際課、山口市国際交流室、新山口駅、五重の塔、宇部新川駅（13）

その他：新幹線、萩焼（2）0～1000、1000～10000（数字）

<解説と考察1>

「とかい、にく、ぎゅうにく、ういろう、せんべい、まんじゅう」のように表記すると和語のような印象を受けるが、それぞれ「都会、肉、牛肉、外郎、煎餅、饅頭」と漢字表記があり漢語である。ひらがな表記で出ているのは、『おいでませ山口1』が入門段階の最初のテキストで、ひらがなを読み書きすることを優先し、漢字表記を制限したためである。

「饅頭（まんじゅう）」の「マン」は呉音で「ジュウ」は唐音であるため、混種語となるとの見方もあるかもしれないが、本稿では漢音、呉音、唐音の区別などはせずに漢語扱いとしておく。

ただし、外来語同士の結合を混種語として、「カフスボタン」を例に挙げ、カフス(cuffs)が袖口の意の英語で、ボタン(botão)がポルトガル語であると解説している辞書もある(『デジタル大辞泉』)。本稿では同例を外来語として扱い、混種語とはしない。

「肉」「駅」は音読みで、一字で漢語扱いになる。語種としては「牛肉」が漢語で、「豚肉」「鶏肉(とりにく)」は混種語となり同類にはならないが、「肉」を上位語とした場合は、「牛肉」「豚肉」「鶏肉」が下位語となり、同列にならぶ。

「おかし」は、「お菓子」と表記され、美化語の「お」+漢語の「菓子」で混種語とした。「菓子」だけを漢語に区分し、「お菓子」を立てる必要はないとの判断もあろうが、日常会話では「お菓子」の使用頻度が「菓子」単独より、はるかに多いし、『おいでませ山口1』における新出名詞としては「菓子」ではなく、「お菓子」である。

入門期の学習者としても、「お菓子」が使えるようにしておきたい。「お菓子屋さん」や「菓子パン」のような混種語、「菓子類」のような漢語にもやがて接するであろうが、二拍語の「菓子」単独では耳で聞いた時に「貸し」「歌詞」「檜」「可視」「下肢」「華氏」などと区別が付きにくい。「お菓子」と三拍語となると他の語と意味の弁別機能を持つので誤解がさけられるという利点もある。

外来語には、アルファベット表記される TEL、FAX など telephone、facsimile など語の後部を省略したものや EMS(Express Mail International Service 国際速達郵便) のように各語の頭文字をとって略語にしたものがある。SAL 便もエコノミー航空便のことであるが、SAL(Surface Air Lifted)の略語とは想像しにくい。

SAL 便は、航空便と船便(Surface)の間くらいの料金と時間で送達できる。

ほかに CD(Compact Disc) など頭文字を用いて省略語を構成しているものもある。欧米諸国から入ってきた語以外にも、日本で造語した和製外国語も外来語扱いされる。ただし、NHK などは日本放送協会の略号なので、アルファベット表記されるが外来

語とは言えない。

林（2011）も「現状はローマ字の補助表記としての守備範囲を超えて、外国語が日本語の文脈の中に入り込み、日本語の表記形態に変化を及ぼしている」としている。今日（きょう）、昨日（きのう）、今朝（けさ）、今年（ことし）などは、熟字訓であり、和語扱いとなる。

0～1000、1000～10000の数字も出現していて、概念（notion）としては重要性が高いが、ここでは語彙の計算からは除外した。

表2. 『おいでませ山口2』の新出名詞

(220語)

和語 60 (27.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ①休み ②みんな、袋 ③窓、外、国、子ども ④入口、ふろ ⑤色、ほか、じゃがいも ⑥もの、夏、上着、かつら、指輪 ⑦夏休み、(お)祭、母、明日、春、夏、秋、冬、桜、ひなまつり、海 ⑧かぜ、目、鼻、口、歯、のど、胸、腕、おなか、手、つめ、足、ひざ、頭、耳、首、肩、背中、ひじ、指、つま先、かかと、腰、髪の毛、酒 ⑨うち ⑩机、押入れ、梅雨、雨傘、大雨、小雨
漢語 85 (38.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ①信号、授業、電池、消防署、警察署 ②かん(缶)、写真、席、小学校、病気、故障、家族、男性、包装 ③約束、携帯電話、留守番電話 ④交通、生活、日用品、せんめんき(洗面器) ⑤歌手、表、人口、市(し)、さとう(砂糖)、市役所 ⑥教科書、字、午前中、運転免許、衣類、留守 ⑦納豆、温泉、週末、美術館、四季、盆、運動会、紅葉、正月 ⑧学校、保険証、問診表、食欲、診察室、患者、旅行、さいふ(財布) ⑨両親、食事、予定表、朝食、昼食、夕食、睡眠、読書、乗車券 ⑩黒板、生徒、社長、洗面所、玄関、日本車、日本食、中学校、高等学校、専門書、小説、定食、食堂、洋食、食事、海岸、海水浴、火山、電報、電気、眼科、外科、耳鼻科、皮膚科、産婦人科、小児科
外来語 41 (18.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ①カレーライス、アルバイト、セロテープ、ガムテープ、ホチキス、ガソリンスタンド ②カレンダー、ポテトチップス、プラスチック、テスト ③DVD、デート、クラス、メッセージ ④アイスクリーム、ダイヤモンド、ボウリング、ティッシュ、タオル、シャンプー

	⑤ ジョギングシューズ、サイズ、コート、ワイン、カレー、ビデオ、ジーンズ、ポケット ⑥ ハンバーガー、セーター、パソコン、プレゼント、M サイズ、L サイズ、シャツ、ワンピース、ズボン、アクセサリ ⑦ SL、キャンプ ⑩ レポート
混種語 14 (6.4%)	② 粗大ごみ、資源ごみ、危険ごみ、誕生日 ③ 焼肉 ④ 台所、カラオケ ⑤ 売り場、けしゴム ⑨ 朝ごはん、市内バス ⑩ コピー機、本棚、本箱

固有名詞 (20語) [9.1%]

人名：山野、山田、中村、小林、三田、マリリン、ヤン (7)

地名類：青海島、周南、富士山、秋吉台、名古屋 (5)

国 (地域) 名類：日本海 (1)

施設名・店名：徳山駅、コープ、ヘアーサロン小島、ゆめタウン、中田医院 (5)

その他：のぞみ (新幹線)、祇園祭 (2)

<解説と考察2>

「ふろ」は、「風呂」と表記されることが多く、漢語と思われがちだが、語源的には「穴倉や岩屋を意味する室 (むろ) から転じた言葉で、元来は湯に入ることと区別されていたが、江戸時代中期以降、湯の中にからだを入れる湯殿と風呂場との区別がなくなった」(『ブリタニカ国際大百科事典』)とされる。ここでは和語に区分する。

「留守」は、日本語と中国語で大きく意味がずれる。もともと古い時代の中国語では、皇帝が都を離れるときに大臣に命じて都を守らせることを意味した。やがて使用範囲が拡大し、部隊・機関・団体が任地を離れるときに少数の人員が残って留守番をする場合に用いられたが、現代中国語では、日常生活の場面では用いない。日本語の「留守」は、中国語では「不在家」となる。

『おいでませ山口2』には、DVD(digital versatile disc [videodisc]) つまり CD の記録容量を飛躍的に増大させた光ディスク規格 (『リーダーズ英和辞典』) が出現する。2004年版の『おいでませ山口2』では、「友達とビデオをみます」という練習問題の文が、2009年版では「友達と DVD をみます」と改訂されている。

ちなみに2004年版では、「友達」などの漢字熟語には「ともだち」と読み仮名が下ルビで示されていたが、2009年版ではすべて上ルビになっている。本来は下ルビの方が、紙を当てて少しずつずらしながら漢字を読み、自分の読み方が正しいか否かをチェックできるので学習者の自習にいいのだが、コンピューターの機能が上ルビに

なってしまった結果のやむを得ぬ処置である。

衣類などの「M サイズ」「L サイズ」も出現する。バランスとしては「大」「中」「小」を表す L(Large)、M(Medium)、S(Small) の「S サイズ」も入れた方がいいであろう。英語由来の「L」「M」「S」が単位として、外来語「サイズ」と結びつきやすいのであろう。「M サイズ」「L サイズ」などは、すっかり日本語の中に定着している。

SL は、steam locomotive(蒸気機関車) の略号と知らない外国人も多いのは、SL が示す略号が sea level(海水面、平均海面) など他にもたくさんあることと、すでに蒸気機関車の存在自体がめずらしいものとなってしまったためであろう。日本人は、鉄道ファンでなくても SL が蒸気機関車のことをさすことを承知している。

「カラオケ」は、カタカナ表記されるために外来語だと思っている人がいるが、もともとは「空(から)のオーケストラ」で「歌がはいっていない伴奏だけを録音したテープやディスク」を意味する。「空(和語)」+「オケ(外来語)」で混種語となる。「カラオケ」の命名も日本であり、「カラオケボックス」などのレンタルルームのシステムや装置の開発も日本発である。海外にも「カラオケ」は進出・展開されており、「KARA OK」などと表記された看板が見られる。「1970年代初めに神戸の歓楽街で生まれ、会社員の間で人気を博した」(『ブリタニカ国際大百科事典』)とされる。

『おいでませ山口2』には図3に示したように「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「粗大ごみ」「資源ごみ」「危険ごみ」などを「ゴミマップ」として絵入りで示している。「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」は、地域によって「燃えるごみ」「燃えないごみ」となったり「可燃ごみ」「不燃ごみ」と区別したりする。「ゴミ」はカタカナ表記される場合もあるが、和語である。「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」は、「ごみ」の下位区分であるが、一語とは認定できないため、上記の表2からは除外した。

表3. 『おいでませ山口』3の新出名詞 (197語)

<p>和語 71 (36.0%)</p>	<p>①みなさん、近く、ところ、生け花、父、母、息子、娘、兄、姉、妹、弟、おじ、おば ②男の子、歌、すもう、つり ③体(からだ)、次、みんな/みな(全部)、もの ④やきとり、すきやき、背、祭り、品物、海、山、田舎 ⑤南、北、庭、かき氷、花火、おしゃべり、夢、間取り、湖、チラシ ⑥店、火 ⑦さかだち、はし(箸)、うめぼし、ホタル ⑧手前、右側、左側、間(あいだ)、黄色、赤、角(かど)、つきあたり、花屋、むかい、ななめ、先、すし屋、くつ屋 ⑨晴れ、たたみ、言葉づかい、前髪、眉、分け目、真ん中 ⑩大みそか、西、船、</p>
------------------------------	---

漢語 59 (29.9%)	①日本語教室、趣味、自己紹介、救急、高校、公民館、独身、保険会社、祖父、祖母、兄弟、家族、両親 ②野球 ③試験、種類、理由、家具、ほく ④面積、食器、世界、紅葉、平均気温、動物 ⑤小説、降水量、資料、身長、建築年数、徒歩、意見、 ⑥新年、絵本 ⑦禁煙、初夏 ⑧交差点、交番、警察官、道路、美容院、弁当、小学校 ⑨入場料、半額、授業、会議、美容師、美容雑誌、計算、着信音 ⑩大学生、空気、書道、計画、正月、行事、習慣、博物館
外来語 32 (16.2%)	②ドライブ、ゴルフ、ダンス、ハンバーグ ③ジョギング、メニュー、パソコン、アフターサービス ④サッカー、スキー、アイスクリーム ⑤エベレスト、LDK、マンション、ベランダ、テンプラ、ボランティア、メモ ⑥コーナー、ペット、ボタン ⑦バイオリン、スケート、ヘッドホン ⑧ストープ、マナーモード、カット、ヘアカラー、ショートカット ⑩クリスマスカード、クリスマスイブ、ホームステイ
混種語 15 (7.6%)	①2DK、電器屋、クリーニング屋 ③家賃 ④ウーロン茶 ⑤値段、一戸建て、不動産屋、花火大会 ⑦切符、スペイン語 ⑨パン屋、本屋 ⑨荷物 ⑩スキー場

固有名詞 (20語) [10.2%]

人名：やまだ (1)

地名：香山町、角島、札幌、奈良、東京都、ロンドン、バンクーバー、トロント、
広島県、沖縄県、北海道 (11)

店名：～でんき (店名) (1)

その他：日本語能力試験、東京タワー、エッフェル塔、(東京) スカイツリー、
富士山、山口宇部空港、関西国際空港 (7)

<解説と考察3>

和語の「みんな／みな」は、第3課に物として「全部 (everything)」の意味で出されており、『おいでませ山口1』に人として「全員 (everybody)」の意味で提出されており、語形は同じであるが、意味が違うことから別の語として表3に示した。

和語の「みんな／みな」が上位語 (上位概念) で、漢語の「全部」「全員」が下位語 (下位概念) とも言える。

音声的には、「みんな」は「みな」の語中に [n] 音が添加されたものである。呼びかけの「みなさん」は「みなさん」とはならず、別語としてカウントした。

また、和語の「大みそか」は、漢字表記で「大晦日」と書くが、もともと「みそか」とは「三十日」のことであり、「大みそか」は「三十日」プラス「一日」で、12月31日を指す。「おおつごもり」「大年」とも言う。

「チラシ」は、カタカナ表記されることが多く、外来語だと思っている日本人もいるが、もともとは「散らす」という動詞から転成してできた転成名詞である。第5課に「チラシを見て、品物の値段を比べてみましょう」と練習課題として提出されており、「広告・宣伝のために配る印刷物」を指す。実は、第4課にも付録的に「生活の中の漢字」が示されており、「チラシを見てみましょう」という見開きのページがある。

ボランティアの日本語教室では、新聞の折り込みチラシが、カラーの写真や絵入りで値段や日時、店名などが出ていることから補助教材としてよく用いられている。

「ホタル」もカタカナ表記されるが、外来語としてではなく、動植物名が学術的に「甲虫目ホタル科の昆虫の総称」のようにカタカナで表記されることによる。「螢」という漢字表記もあるが「ゲンジボタル（源氏螢）」「ヘイケボタル（平家螢）」「ヒメボタル（姫螢）」などカタカナ表記が正式な学術名であり、歴史的な由来を示す味わい深い漢字表記は俗称扱いとなる。

「てんぷら」は典型的な日本料理だから、和語に違いないと思う人もいるだろうが、『デジタル大辞泉』には「テンプラ」と見出し表記はカタカナで示され、「語源は、ポルトガル語の *temero; temporas* または、スペイン語の *templo* からなどの諸説がある。『天麩羅』とも書く」とあり外来語となる。表記は、「天ぷら」や「天婦羅」もある。

また、LDK は3 LDK、4 LDK など部屋の間取りを表す言い方で、Living room(居間)の略で L、Dining+Kitchen(ダイニング・キッチン：和製英語)の略で DK、合わせて～LDK となる。また、2DK、3 LDK、4 LDK などは、混種語となる。

また、マンション (*mansion*) の本来の意味は、大邸宅、大地主の邸宅のことであるが、日本では高層化された主に民間企業が供給する分譲・賃貸住宅の意味に使われている。日本語の外来語として、アパート、マンション、コーポラス、ハイツ、レジデンスなどイメージと形態を区別して用いられるが、共同住宅または集合住宅と上位語で一括することができる。いずれにしても、英語にすると *an apartment house* となる。池谷・久津木 (2012) は、カタカナ外来語の問題を次のように指摘している。

「英語を母語とする日本語学習者が、日本語のマンションという単位を学ぶとき、自分の知っている言語の *Mansion* とそれが異なることを認識し、さらに、その語が持つ意味範疇を定義し直さなければならないということが大きな問題になる。つまり、

似ているのに異なるということが、逆に難しくしているのである」。

「一戸建て」は、「一戸」が音読み、「建て」が訓読みであり、混種語となる。

「ウーロン茶」は、「ウーロン」の部分が中国語からの外来語であり、「茶」が漢語で混種語となる。「烏龍茶」と漢字表記され、中国人は中国語という意味での「漢語」一語であるとの認識であろう。英語においても oolong tea となり、混種語となる。

表4. 『おいでませ山口4』の新出名詞 (225語)

<p>和語 38 (16.9%)</p>	<p>①ふぐ、おかわり ②かぎ、手品、待ち合わせ ③緑、恋人、夢、おもちゃ、広場 ④母の日、(お)見舞い、祝い、はじめ、手袋 ⑤お年玉 ⑥大家(おおや)、忘れ物、手伝い、朝夕、たたみ ⑦花束、吸がら ⑧棚、風、湯、ふた、安物 ⑨枝、明かり ⑩帰り、行き方、心得、お守り、おまじない、月、墨、火</p>
<p>漢語 110 (48.9%)</p>	<p>①休日、出身、天気予報、雰囲気 ②先輩、宿題、花びん、当日、道具、後輩、ぼく、失敗、大失敗、深夜、結果 ③国際交流、文化、体育館、携帯(電話)、会議、会議室、今夜、講座、支社、宇宙、宇宙飛行士、将来、高校生、海外、設計、修理 ④記念品、送別会、社長、卒業、同僚、出産、部長、銀婚式、旅行券、自分、一周、布団 ⑤喫茶店、券、料金、旅客機、全席指定、予約、乗船券、前日 ⑥原稿、発音、報告書、課長、内容、先日、経験、部下、印鑑、書類、札 ⑦画家、水墨画、展覧会、医学者、伝染病、漫画、最近 ⑧店長、洗濯機、電源、責任、ろうそく ⑨留守、返事、台風、被害、災害、情報、勢力、様子、商店街、看板、停電、進路 ⑩試験会場、時刻表、受験票、準備体操、親戚、結婚披露宴、材料、集合、1部、職員、確認、予防接種、掲示板、受験、二、三、四、五、六、七、衣服、自信、登録原票、証明書、</p>
<p>外来語 39 (17.3%)</p>	<p>①チケット、ウエイター、エアコン、ビザ ②ミステリー、パスポート、メール ③フェスティバル、コンサート、スイッチ、エプロン、ポスター、ピアニスト、チャンス ④バレンタインデー、ストーブ、マフラー ⑤フェリー、ハイウエー ⑥スピーチコンテスト、ロッカー ⑦サーフィン、IT、マナー</p>

	⑧プリント、ディスプレイ ⑨チャイム、パトカー、ファスナー、タイヤ、アナウンサー、レポーター、カップラーメン ⑩デート、ハンガー、アイロン、クリーニング、ギョーザ、アドバイス、リズム
混種語 18 (8.0%)	①夏休み中、金魚すくい、盆踊り、綿菓子、おおぜい ②試合 ④ベビー服、雪合戦、お宅、結婚記念日 ⑥荷物 ⑦場所 ⑧気持ち、どろぼう ⑩申込書、かとりせんこう、使い捨てカイロ、段ボール

固有名詞 (20語) [8.9%]

人名：山下、太郎、佐藤、雪舟、クラウジア、ミン、ルーク、サイド (8)

地名：富山、柳井、大阪、松山、枕崎、上海、常盤台、青葉町、鹿児島県 (9)

国 (地域) 名：なし (0)

施設名・店名：雪舟庭、維新公園、フジグラン (3)

<解説と考察 4 >

「ぼく」とあると一見和語のように見えるが、「僕」一語でも漢語である。「僕」は、もともと男の召使い、下男の意味で用いられていたが、一人称の人称代名詞として用いられるようになった。明治時代頃から、書生・学生が「ぼく」を用いるようになったと言われ、現代では親しみのあるくだけた言い方として使われ、改まったときは「わたくし」を用いる。

外来語の IT などは、もともとの語を知らないまま使われている場合もあるが、Information Technology の略号である。IT 産業、IT 関連企業、IT ビジネスなど複合語 (合成語) を創り出す力がある。

『デジタル大辞泉』の区分では、カップラーメンが、カップ (cup) の部分が英語で、ラーメン (拉麺・老麺) の部分が中国語であり混種語となるが、本稿では外来語に区分した。

「おおぜい (大勢)」は、「大」が和語で、「勢」が漢語で混種語となる。

「お宅」は、接頭辞の「おん (御)」が音変化して「お」となった部分が和語で、「宅」が漢語なので、混種語となる。「宅」を新出語として扱えば、「お宅」を挙げる必要はないとの考えもあろうが、『おいでませ山口4』の新出名詞としては「宅」ではなく、「お宅」として出現している。普通は「お話」「お手紙」のように「お」+和語が多いが、「お宅」だけでなく「お礼」「お菓子」など「お」+漢語の例もある。

「お宅」は、家・住居の意と相手の意の人称にも使われ、住居の場合も「拙宅」「我が家」(ウチ)と「お宅」「お住まい」(ソト)を弁別する機能も果たす。

『おいでませ山口4』の新出名詞としては「お礼」も出ているが、ここでは「礼」だけを漢語に区分し、「お礼」を混種語の中には入れなかった。

「お菓子」の場合と同じように二拍語の「礼」だけでは、「例」「零」「霊」などと弁別しにくいということもあるが、「菓子」のように同音異義語があるわけではない。

「かとりせんこう」は、ひらがな表記だと和語のように見えるが、「かとり」の部分が「蚊取り」で和語、「せんこう(線香)」の部分が漢語で、混種語となる。

「使い捨てカイロ」は、「使い捨て」の部分が和語で、「カイロ(懐炉)」の部分が漢語で、混種語となる。「荷物」は、「荷」が和語で、「物」が漢語で混種語となる。

「切符」は、「訓読み(切る)+音読み(符)」で混種語となる例が前項の『おいでませ山口3』に出ているが、『おいでませ山口4』では漢語の「券」「乗車券」「旅行券」と外来語の「チケット」が出現する。池谷・久津木(2012)は、「一見、よく似たカタカナ語のチケットが示す意味カテゴリーが英語のTicketとどのくらい異なっているのが明示されないと、真に日本語学習者の助けにならない」としている。アンケート調査の結果、次のように結論付けている。

「英語話者にとってTicketは上位概念の語彙カテゴリーであり、その下にTrain ticket、Concert ticket、Lottery ticket、Air ticketなどのサブカテゴリーがあると認識されている。そのためTicketという単語を聞いた時、あまりに漠然としており、何を示すのかが明確ではない。それに対して、カタカナ語のチケットは上位概念ではなく、下位概念であるサブカテゴリーの語であり、それが持つイメージは非常に明確である。おそらく外来語が後から入ってきたため、そのカテゴリーにおける特定のもののイメージと強く結び付いているからであろう」。引用文中のTicketは、文頭の語ではなく、文中の単語であるから、ticketとしたほうがよいであろう。

ちなみに「パスポート」(passport)も漢語で表記されると「旅券」となる。

表5. 『おいでませ山口』5の新出名詞 (227語)

和語 44 (19.4%)	①受付、係、つまみ、知り合い、花見、やけど、宝くじ ②使い方、下着 ③片付け、小鳥、仲間 ④敷物、したく ⑤楽しみ、香り、梅、一人暮らし、ほお、もみじ、城、幸せ、寝顔、雲、 建物、芋、売れ行き、孫、行き先、わかめ ⑥博士(はかせ) ⑦大人 ⑧足湯、戸締まり、場合、市場、けが ⑨着物、打ち合わせ、えさ ⑩昼間、子育て、におい、前髪
---------------------	---

<p>漢語 119 (52.4%)</p>	<p>①欄、延期、中古車、管理人、台、予備、遠足、周辺、観光、点数、歌舞伎、山頂、茶道、故郷 ②野菜、塾、住民、外国、機械、免許、柔道、新製品、医院、小学生、水分 ③出張、往復、留守番、けんか、マンガ本、同僚、国際会議、選挙、恐竜、化石、実験、石油、電灯、作品、世界各国、年齢、法律 ④課、新人、部員、化粧品、歴史 ⑤即日、女優、人形、天使、混雑、発売、同時、模型 ⑥車掌、乗客、和服、書名、本社、活躍、校長、予定、教授 ⑦用紙、会場、在庫、論文、先方、当社、小社、弊社、貴社、講演会、件、企画、協力、開会時間、出席者、全員、担当、本店、伝言、電卓、用件 ⑧次回、節約、入浴、和食、浴そう ⑨貿易会社、奨学金、語学学校、高速道路、校内、新入社員、勤務、休憩、給料、社会保険料、年金、有給休暇、入社、翌日、新人研修、月末 ⑩量、図、作曲、活動、収入印紙、欠航、上司、学部、写真集</p>
<p>外来語 36 (15.2%)</p>	<p>①キャンセル、バスツアー、ツアー ②テーブルセッティング、インフルエンザ、コーチ、チャーハン、バイク、ゼリー ③ロケット、プラスチック、サミット ④テレビゲーム、サッカースクール ⑤ホームシック ⑥バイト ⑦フロント、ツインルーム、ソファ、パンフレット、ゲームソフト、ハーブティー、ニュース、ユーモア ⑧ダイエット、マナーモード、ゲーム、エレベーター ⑨マニュアル ⑩ミュージシャン、ピザ、ハンバーガー、コンタクトレンズ、スパゲティ</p>
<p>混種語 11 (4.5%)</p>	<p>①申し込み用紙、×印（ばつじるし）、キャンセル料、城下町 ②窓ガラ ③彼女 ⑥ わが社、大火事 ⑦御社 ⑧洗濯物 ⑨勉強机</p>

固有名詞（18語）[8.5%]

人名：野口、紫式部、上田、ベーターベン、エジソン、シェークスピア（5）

地名：一の坂川、嘉川、沖縄、九州、プサン（5）

施設名・店名：江戸市場、ディズニーランド（2）

その他：「運命」（曲名）、山陽本線、『源氏物語』、山口線、山口弁、

山口ライナー（6）

<解説と考察5>

「博士（はかせ）」は、「博士（はくし）」の通称であり、「はかせ」と読めば熟字訓となり和語扱いで、「はくし」と読めば漢語となる。「大人（おとな）」は、熟字訓で和語扱い。紅葉は、「もみじ」と読めば熟字訓の和語で、「こうよう」と読めば、漢語となる。「故郷」は、「こきょう」とよめば漢語で、「ふるさと」と読めば熟字訓で和語扱いとなる。

「したく」は和語で「準備」は漢語であり、中国・韓国など漢字圏の学生には「準備」は理解しやすいが、「したく」は分かりにくい。「したく」は、「支度」と書いたり、「仕度」と書いたりするが、いずれも当て字である。「したく」は、古い手紙の形式の「～したくそうろう」など候文から来たとする説もある。類義語としては、「用意する」が提出されている。

「けんか」はひらがなで書くと和語のように見えるが「喧嘩」という漢字表記があり、どちらも常用漢字でないため、便宜上ひらがな表記となることが多い。

「梅（うめ）」は、「和語」として訓読み扱いされることが一般的で、漢和辞典の『新字源』でも音読みの「バイ」（漢音）に対して、訓読み扱いしている。

しかし、磯部佳宏氏によると日本語史のテキストなどでは、「うめ」は非常に古く伝来した漢語であるという説明をしているものが多く、「うめ」という発音が漢語起源であること自体は定説とされているとのこと。他に、「馬（うま）」「菊（きく）」なども同じ性格の語のようで、磯部氏が「日本語史」の授業で使用しているテキスト（沖森卓也編『日本語史 おうふう』）では、たとえば奈良時代における語種の使用率の説明で、圧倒的多数が和語であるが、「漢語もわずかながら見え、『梅』『馬』『菊』などは日常的に使われていた」と記述されている。また、大野晋編『古典基礎語事典』（角川学芸出版）の「うめ」の項では、和語か漢語かの記載はないが、「漢字『梅』の呉音系の字音を写したものと解説されている。

したがって、日本語史を詳しく勉強している者にとっては、「うめ」を「和語」「漢語」のどちらと考えるべきか、迷う場合もあると思われる。磯部氏の見解によると、実際には、漢和辞典も訓読み扱いしているわけだから、「漢語起源で和語化したもの」ということで、少なくとも現代語としては「和語」扱いで構わないとのことである。

「マンガ本」は、カタカナ表記+漢字で、混種語のように見えるが、「漫画本」と漢字表記でき、漢語となる。外来語でもないのにカタカナ表記するのは、子どもでも読めるようにとの配慮と表記のファッション化による。

表記のファッション化とは、本来ひらがな表記のところをカタカナ表記してみたり、漢字表記があるのにカタカナ表記したり、ひらがな表記して、表記の目新しさを楽し

む傾向を言う。その命名は梅光学院大学の山本和之氏(元山口大学人文学部長)による。

「まんが」「マンガ」「漫画」のどれを使うかは、まるでその日の服を選ぶように自由である。発音上「まんがほん」と連濁するのは、「マンガ」と「本」の二語が一語化して、より結束性を高めるためである。

韓(2009)は、日本語の新語に見る日本事情を調査する中で、「マンガ喫茶」の使用率は「漫画喫茶」より高く、「現在本やテレビ、インターネット上、漢字表記で『漫画喫茶』を表すと古いイメージを与えてしまう」としている。

混種語に入れた×印(ばつじるし)は、罰点から来たときれ、成績の「不可」や伏字などを示す記号である。地域によっては、ペケとも呼ばれる。「ペケ」の語源は、「あっちへ行け」の意のマレー語 *pergi* から来たとする説と「よくない」の意の中国語「不可 (*buke*)」から来たとする説もあるが、詳細は不明である。

×印を「ペケじるし」と読んでも混種語となる。

5-3. 『おいでませ山口1~5』の新出名詞の語類の分布

『おいでませ山口1~5』の新出名詞の種類を次の表6と図6に示す。ただし、固有名詞の語数は合計には入れたが、固有名詞の百分率を表6と図6からは削った。ローカルテキストの特徴としては地名、機関名、店名など固有名詞に表れることが考えられる。しかし、『おいでませ山口1』の固有名詞は、84語で全体の22.2%であるが、学習者の出身国名が一挙に43表れるなど、必ずしも地域性の指標とはならない面もある。『おいでませ山口2~5』の固有名詞は各巻の1割前後の出現率である。

表6. 『おいでませ山口』1~5の新出名詞の語類の分布(%)と合計(実数)

	和語(%)	漢語(%)	外来語(%)	混種語(%)	合計
おいでませ山口1	27.2	34.0	11.3	5.3	379
おいでませ山口2	27.3	38.6	18.6	6.4	220
おいでませ山口3	36.0	29.9	16.2	7.6	197
おいでませ山口4	16.9	48.9	17.3	8.0	225
おいでませ山口5	19.4	52.0	15.9	4.8	227

新出名詞語数合計：1,248

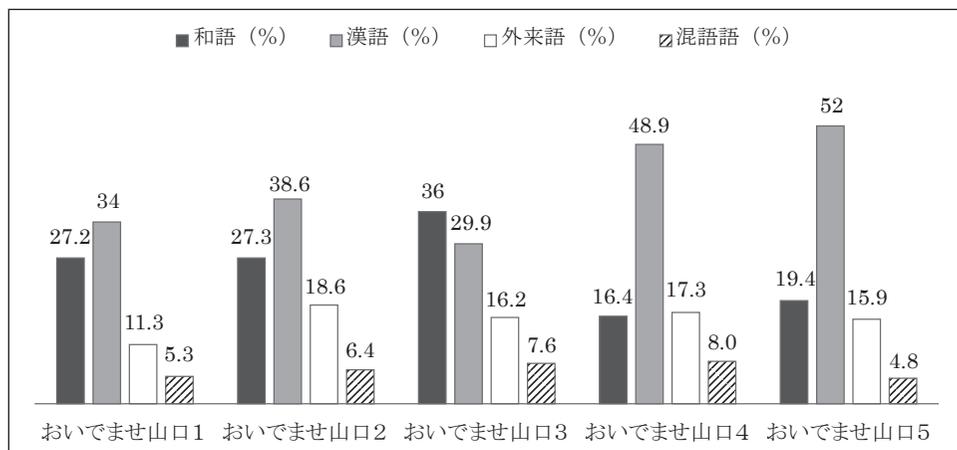


図6 『おいでませ山口1～5』の新出名詞の種類分布 (%)

和語は『おいでませ山口1』27.2%から順に増えているが、『おいでませ山口4～5』で10%台に落ちている。漢語の方は『おいでませ山口3』で29.9%に落ちているのを除けば、『おいでませ山口1～5』で順に増えて、『おいでませ山口5』では50%を超えている。日本語の学習段階が進むに従って、漢語の占める割合が多くなり、重要性が増していることが分かる。その点、外来語は各巻とも10%台に留まっており、混種語は各巻とも、一桁台の出現率に留まっている。

以上『おいでませ山口1～5』の新出名詞を対象に語彙の区分を試みたが、同様に『おいでませ山口1～5』の新出動詞の区分を以下に示す。

5-4. 『おいでませ山口』の新出動詞 (361) について

日本語教育では、表記として「ひらがな」から入り「カタカナ」「漢字」へと進むことが一般的であるが、動詞の分野でも「和語動詞」から入り「漢語動詞」へと学習範囲を広げている。「和語動詞」「漢語動詞」という区分の仕方は、日本語教育の専売特許ではなく、国語学の分野でも用いられている。

磯部 (2002) は、「『書く』のような和語動詞は、その連用形「書き」が「お～になる」の形式でくるまれ、『出席する』のような漢語サ変動詞の場合は、その語幹部分「出席」が「ご～になる」の形式でくまれる」と「和語動詞」「漢語サ変動詞」という区分を用いている。ただし、「漢語動詞」は以下に示すように「サ行変格活用」の動詞であるため、「漢語サ変動詞」と言わなくてもいいのではないと思われる。

また、本稿では「プレゼントする」のように外来語の「サ行変格活用」の動詞を「外来語動詞」、「朝寝坊する」のように混種語の「サ行変格活用」の動詞を「混種語動詞」

として区分する。日本語学校では「漢語サ変動詞」や「外来語サ変動詞」「混種語サ変動詞」を「する動詞」として教えているところもある。

表7. 『おいでませ山口1』の新出動詞 (動詞：42語)

和語動詞 41 (97.6%)	②教えて、③たって、すわって、かして、あけて、とじて、こたえて ④はらう、⑤ある、いる、⑦行く、帰る、飲む、買う、書く、聞く、読む、 おきる、ねる、見る、食べる、来る、する、⑧乗る、(写真を)とる、 話す、⑨(雨が)ふる、休む、およぐ、(風呂に)はいる、うたう、(の どが)かわく、わかる、(電話を)かける、(シャワーを)あびる、(電 気を)つける、⑩はいる、(たばこを)すう、(花を)とる、すてる、 と(止)める、
漢語動詞 1 (2.4%)	⑦勉強する

『おいでませ山口1』の漢語動詞は、「勉強する」の一語のみである。厳密には「勉強」が漢語で、「する」は和語のため、混種語となるのだが、本稿では語幹部分が混種語であるものを混種語動詞とした。

「勉強する」は「学ぶ」「学習する」の意であるが、和語動詞の「学ぶ」と漢語動詞の「学習する」は、『おいでませ山口1～5』の新出語には含まれていない。日本語母語話者においても、子どもの発達段階に応じて、「勉強する」から「学ぶ」「学習する」へと語の使用範囲が拡大するが、外国人の成人学習者においても、日常生活言語としての「勉強する」からアカデミック・ジャパニーズとしての「学ぶ」「学習する」へと語彙の拡大が期待される。ただし、中国語母語の学習者は、「学習」が母語と同義であるためコード転換するのは、音声面と語形で「学習する」の「する」という活用部分を付加する点だけで、習得は容易である。

「勉強する」の関連語として、「勉強机」が『おいでませ山口5』に出ている。「勉強する」「学ぶ」「学習する」の意味分析に関しては林(2013)を参照していただきたい。

林(2013)は、和語の「学ぶ」を上位語(上位概念)とし、漢語の「勉強する」「学習する」を下位語(下位概念)としている。

外来語動詞は出現していないが、名詞として「シャワー」「バレーボール」などが出ているため、「する」を付ければ、サ変動詞になりうる。ただし、辞書レベルでは、まだ「シャワーする」などの動詞用法は、認知されていない。「シャワー」「バレーボール」いずれも英語の原語でも名詞として用いられていて、動詞用法は見られない。

表8. 『おいでませ山口2』の新出動詞

(動詞：39語)

和語動詞 36 (92.3%)	①わかる、会う ②使う、出す、置く、(席が) 空く、(テレビが) うつる、おくれる、 わかる ③疲れる、(外に) 出る、閉める ④(お金を) おろす、借りる ⑤(くつを) はく、さがす、やる、聞く(尋ねる)、(ぼうしを) かぶ る、着る、なめる ⑥歩く、持つ、わかる、止まる、ぬぐ、(ぼうしを) とる、(めがねを) はずす、(めがねを) かける、(ネクタイを) する ⑧休む(休養する)、おとす、ぬらす ⑨洗う、降りる ⑩登る
漢語動詞 3 (7.7%)	③予約する、旅行する ⑦出発する

『おいでませ山口2』に出現する漢語動詞は、表8の3語だけであるが、表2に示した漢語として、「授業」「病気」「約束」などがあり、「する」を付ければ、サ変動詞になりうる。また外来語動詞は出現していないが、「アルバイト」「テスト」「シャンプー」「プレゼント」「キャンプ」「レポート」などが名詞として提出されているので、「する」を付ければ、サ変動詞になりうる。「プレゼントする」は、次の『おいでませ山口3』で提出される。

表9. 『おいでませ山口3』の新出動詞

(動詞：53語)

和語動詞 45 (84.9%)	①もうす、まいる、住む、知る、通う、働く、習う、つとめる ②いらっしゃる、おる、(絵を) かく、(料理を) 作る、集める ③思う、引っ越す ④洗う、選ぶ ⑤連れて行く、探す、焼ける ⑥しぬ、(ケーキを) 焼く、植える、消える、取れる、倒れる、落ち る ⑦飼う、出かける ⑧まがる、閉まる、急ぐ、さく、たす、押す、困る、わたる、たずね る、(コンビニが) できる ⑨持って行く、似合う、塗る、受ける、汚れる ⑩やる(する)、おどる
漢語動詞 7 (13.2%)	①結婚する、③合格する、⑤紹介する、⑧入学する、⑨説明する、安 心する、⑩体験する
外来語動詞 1 (1.9%)	⑨プレゼントする

『おいでませ山口3』では「合格する」「入学する」が提出され、次の『おいでませ山口4』では、「(試験に)落ちる」が出されている。日本語学習者は、「(試験に)合格する」というべきところを「(試験を)合格する」あるいは「(試験に)落ちる」というべきところを「(試験を)落ちる」と他動詞扱いしてしまうことがある。初級の段階で自動詞と他動詞の区別をしておかないと中上級になっても「大学院を入学する」のような間違いを犯すことになる。『おいでませ山口3』には外来語動詞が「プレゼントする」一語しか出現していない。しかし、名詞としては、「ドライブ」「ゴルフ」「ダンス」「ジョギング」「サッカー」「スキー」「ボランティア」「メモ」「スケート」「カット」「ホームステイ」などが出現しているので、「する」を付ければ、サ変動詞になりうる。混種語動詞は、出現していない。

表10. 『おいでませ山口4』の新出動詞 (動詞：124語)

和語動詞 95 (76.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ①開(あ)く、返す、(運転免許を)取る、続く、切れる ②なくす、着く、割る、落とす、汚す、よる、落ちこむ、間に合う、負ける、忘れる、(試験に)落ちる ③す(済)む、(手を)たたく、やめる、調べる、届く、運ぶ、治る、走る、編む、勝つ、防ぐ、(大学に)入る、開(ひら)く ④もらう、やる、いただく、喜ぶ、眠る、貸す、あげる、さしあげる ⑤終わる、くださる、(レポートを)出す、払う、ひろう、くれる、届ける ⑥直す、(人を)送る、手伝う、よぶ、誘う、選ぶ、泊まる、(コンテストに)出る、見せる、ぬれる、決める ⑦飾る、楽しむ、出かける ⑧しまう、消す、(ボールが)入る、動く、倒す、つく、動かす、破る、壊す、割れる、消える、(ボールを)入れる、(ボールが)落ちる、倒れる、(電源を)入れる、呼びかける ⑨(かぎが)かかる、待つ、わく、わかす、(道路が)込む、(風が)吹(ふ)く、進む、破れる、取れる、こぼれる、伝える ⑩みがく、はる、始まる、確かめる、(アイロンを)かける、片づける、並べる、そろえる、あきらめる
漢語動詞 25 (20.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ①留学する、開店する、②連絡する、案内する、③利用する、貯金する、節電する、卒業する、引退する、④相談する、⑤出発する、登録する、出席する、⑥招待する、⑦完成する、研究する、減少する、⑧説明する、⑨渋滞する、帰国する、入院する、⑩復習する、記入する、解凍する、調節する
外来語動詞 3 (2.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ②コピーする、⑥チェックする、⑨パンクする
混種語動詞 1 (0.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ⑨寝坊する

外来語動詞は、「コピーする」「チェックする」「パンクする」の3語だけが示されているが、名詞として「メール」「コンサート」「エプロン」「サーフィン」「プリント」「ディスプレイ」「デート」「クリーニング」「アドバイス」などが提出されており、「する」を付ければ、サ変動詞になりうる。

混種語動詞としては、「寝坊する」の一語のみ出現している、同様に「朝寝する」や「朝寝坊する」などと応用することもできる。名詞として「金魚すくい」「盆踊り」「雪合戦」「どろぼう」などが出現しているので、「する」を付ければ、サ変動詞になりうる。

表11. 『おいでませ山口5』の新出動詞

(動詞：103)

和語動詞 65 (63.1%)	①申し込む、取り消す、頼む、回す、ぬる、見える、建てる ②太る、ふく、たたむ、覚える、考える、着替える ③踏む、頼む、しかる、笑う、開(ひら)く、行う、助ける、追いかける、ほめる、逃げる、打ち上げる、連れてくる、いたずらする ④敷く ⑤暮らす、干す ⑥召し上がる、おやすみになる、なさる、慣れる ⑦何う、決まる、包む、預かる、鳴る、戻る、お目にかかる、いたす、(いすに)かける、知らせる、(お茶を)いれる、申し上げる ⑧(～に)つかる、(日が)暮れる、思い出す、治す、(インフルエンザに)かかる、刺す、泊める ⑨振り込む、差し引く、(傘を)さす、決まる、(バスが)出る、(研修を)受ける、早起きする ⑩(ボタンが)留まる、似合う、転ぶ、出会う、焦げる、戻る
漢語動詞 36 (34.9%)	①遅刻する、進学する ③注意する、発見する、輸入する、中継する、作曲する、発明する、改良する ④残業する ⑤出勤する、展示する ⑥下車する、発車する、停車する、優勝する、退席する、講演する ⑦用意する、治療する、訪問する、外出する、承知する、失礼する、拝見する、存じる ⑨就職する、転勤する、採用する、参加する、単身赴任する、延期する、応援する ⑩提出する、到着する、注文する
外来語動詞 1 (1.0%)	⑩クリックする
混種語動詞 1 (1.0%)	⑥ごらんになる

『おいでませ山口5』の漢語動詞は、『おいでませ山口』シリーズの中でも一番多いが、名詞としても「出張」「実験」「混雑」「発売」「活躍」「予定」「企画」「協力」「節約」「入浴」「勤務」「休憩」「入社」「作曲」「活動」「欠航」なども出現しており、「す

る」をつければサ変動詞として用いることができる。

漢語動詞のほとんどが二字漢語動詞であるが、上記に示した「存じる」のように一字漢語動詞もある。「存じる」は「存ずる」としてもよく、サ変動詞として用いる。外来語レベルでも「キャンセル」「コーチ」「バイト」「ダイエット」などが出現しており、「する」をつければサ変動詞として用いることができる。

このように『おいでませ山口5』は漢語動詞、外来語動詞を拡大する可能性を含んでいる。なお、『おいでませ山口5』の「ごらんになる」は、漢語「御覧」+和語「になる」で混種語動詞となる。

5-5. 『おいでませ山口』 1～5の新出動詞の種類分布

表12. 『おいでませ山口』 1～5の新出動詞の種類分布 (左:実数、右:%)

	和語動詞		漢語動詞		外来語動詞		混種語動詞		合計
おいでませ山口1	41	97.6	1	2.4	0	0.0	0	0.0	42
おいでませ山口2	36	92.3	3	7.7	0	0.0	0	0.0	39
おいでませ山口3	45	84.9	7	13.2	1	1.0	0	0.0	53
おいでませ山口4	95	77.3	25	19.5	3	2.4	1	0.8	124
おいでませ山口5	66	63.1	36	34.9	1	1.0	1	1.0	103
合計	283	78.4	72	19.9	5	1.4	1	0.3	361

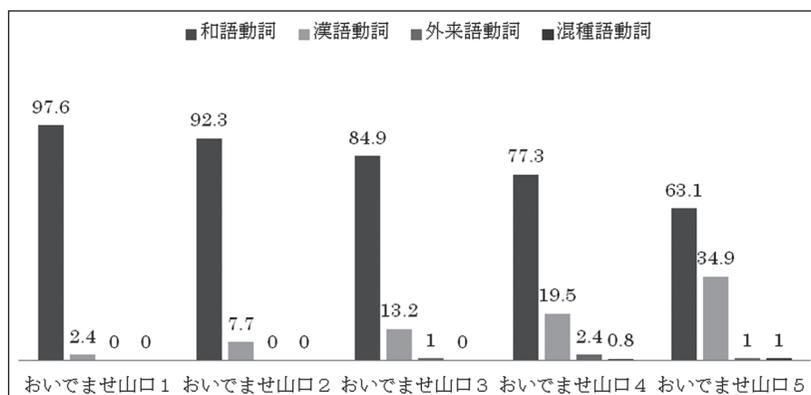


図7. 『おいでませ山口』 1～5の新出動詞の種類分布

『おいでませ山口』のシリーズは、和語動詞が最も多く出現するが、図7に示したように1、2、3、4、5と巻が進むにつれて徐々に減少し、逆に漢語動詞が徐々に多くなる。和語動詞のほうが基本的な動詞を分担し、同じ「入れる」でも「ボールを入れる」「電源を入れる」と異なる意味を担う多義語となっている。それに対して漢語動詞は、「入学する」「入社する」「入院する」「入浴する」など意味が限定される特徴がある。巻が進むにつれて漢語動詞が徐々に増えるのもそのような事情が関係する。

6. 今後の課題

漢語動詞と外来語動詞、混種語動詞の共通点は、サ変動詞（サ行変格活用動詞：不規則動詞：する動詞）である点に着目したい。今後外来語動詞、混種語動詞が現実的
にどの程度許容されているのかを検討したい。

『おいでませ山口1～5』全体では、動詞が360提出されており、その内、和語動詞
は283語で78.4%と約8割を占めている。漢語動詞は、72語で19.9%と約2割に留まっ
ている。さらに市販されている初級・中級・上級の日本語テキストでは、どのような比
率になるのかを調査したい。



【検討教材】

山口県日本語教育ネットワーク「おいでませ山口」作成委員会制作・発行（2010）『お
いでませ山口1—外国人のための入門日本語教材—』（全149頁）

山口県日本語教育ネットワーク「おいでませ山口」作成委員会制作・発行（2009）『お
いでませ山口2—外国人のための初級日本語教材—』（全147頁）

山口県日本語教育ネットワーク「おいでませ山口」作成委員会制作・発行（2013）『お
いでませ山口3—外国人のための初級日本語教材—』（全126頁）

山口県日本語教育ネットワーク「おいでませ山口」作成委員会制作・発行（2010）『お
いでませ山口4—外国人のための初級日本語教材—』（全147頁）

山口県日本語教育ネットワーク「おいでませ山口」作成委員会制作・発行（2011）『お
いでませ山口5—外国人のための初級日本語教材—』（全109頁）

【参考文献】

池谷知子・久津木文(2012)「日本語母語話者のカタカナ外来語における意味カテゴリー
の研究—英語の Ticket と日本語のチケットのマッピングを例として—」日本語教
育学会・山口大学『2012年度 日本語教育学会中国地区研究集会 第9回 留学

- 生に対する日本語教育改善研修会予稿集』 pp.98-103
- 磯部佳宏 (2002) 「『お話』『ご案内』は尊敬語か謙譲語か？」『山口大学文学会志』 第52巻、pp.91-101
- 磯部佳宏 (2006) 「変化する日本語—『誤用』と『ゆれ』— (上) —」『山口大学文学会志』 第56巻、pp.63-70
- 大野晋編 (2011) 『古典基礎語事典』 角川学芸出版
- 沖森卓也編 (1989) 『日本語史』 おうふう
- 韓飛 (2009) 「日本語の新語に見る日本事情—<オタク>関連語を中心に—」『山口国文』 第32号、pp.121-134
- 日本語教育学会 (2008) 「平成19年度文化庁日本語教育研究委嘱『外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発』 報告書」
- 林 伸一 (2009) 「外国人のための日本語教科書『おいでませ山口』の歩みと今後の課題」『山口大学文学会志』 第59巻、pp.115-129
- 林 伸一 (2011) 「異文化の受容形態としての外来語・外国語の問題—表記と語種の観点から考える—」『異文化研究』 第5号、山口大学人文学部異文化交流研究施設
- 林 伸一 (2013) 「『学ぶ』『学習する』『勉強する』—意味分析と語用論—」中国四国教育学会『教育学研究紀要』 (CD-ROM 版) 第58巻
- 吹屋葉子・山見智子・林伸一・小原寿美 (2012) 「ローカルテキスト『おいでませ山口1~5』の可能性」日本語教育学会・山口大学『2012年度 日本語教育学会中国地区研究集会 第9回 留学生に対する日本語教育改善研修会予稿集』pp.52-57